

c-fos遺伝子プロモーター活性化機構の解析. 日本薬学会北陸支部第111回例会, 2004, 12, 金沢.

- 13) 原 大智, 宮下敏秀, 南野 恵, 田淵明子, 津田正明: 神経特異的サイレンサーエレメント(NRSE)のBDNF遺伝子プロモーター活性に及ぼす影響. 日本薬学会北陸支部第111回例会, 2004, 12, 金沢.
- 14) Tabuchi A., Estevez M., Henderson J., Marx R., Shiota J., Tsuda M., Baraban J.: Activation of SRF-mediated transcription in neurons by a RhoA signaling pathway that triggers nuclear translocation of the SRF coactivator MAL. 第27回日本分子生物学会年会, 2004, 12, 神戸.
- 15) 安田 誠, 今村理佐, 窪田たかね, 東 裕子, 福地 守, 田淵明子, 津田正明: ラット大脳皮質神経細胞における脳由来神経栄養因子(BDNF)遺伝子の自律的・持続的発現制御系の解析. 第27回日本分子生物学会年会, 2004, 12, 神戸.
- 16) 福地 守, 田中俊充, 金崎一史, 田淵明子, 津田正明: カルシウムおよびcAMPシグナルによるPACAP遺伝子の転写および転写後調節機構に関する解析. 第27回日本分子生物学会年会, 2004, 12, 神戸.
- 17) 今村理佐, 百合朋子, 島田祐也, 安田 誠, 田淵明子, 津田正明: 神経活動依存的なBDNF遺伝子発現に対する環境化学物質の影響. 環境ホルモン学会第7回研究発表会, 2004, 12, 名古屋.

#### ◆ その他

・招待講演等

- 1) 津田正明: BDNF遺伝子転写調節と神経機能発現. 第7回日本薬理学会年会シンポジウム, 2004, 3, 大阪.
- 2) 津田正明: 活動依存的な脳由来神経栄養因子(BDNF)遺伝子の発現制御系と環境化学物質の与える影響. Neuro2004(第27回日本神経科学大会・第47回日本神経化学学会大会合同大会)シンポジウム, 2004, 9, 大阪.

## 衛生・生物化学

Biological Chemistry

生理化学研究室

Physiological Chemistry

教授(前) 中川 秀夫 Hideo Nakagawa  
助 教 授 三井健一郎 Ken-ichiro Mitsui  
助 手 柴田 太 Futoshi Shibata  
助 手 高野 克彦 Katsuhiko Takano

#### ◆ 原 著

- 1) Shibata F., Miyama K., Shinoda F., Mizumoto J., Takano K., and Nakagawa H.: Fibroblast growth-stimulating activity of S100A9 (MRP-14). *Eur. J. Biochem.*, 271: 2137-2143, 2004.
- 2) Takano K., Nakaima K., Nitta M., Shibata F., and Nakagawa H.: Inhibitory effect of (-)-epigallocatechin 3-gallate, a polyphenol of green tea, on neutrophil chemotaxis *in vitro* and *in vivo*. *J. Agric. Food Chem.*, 52: 4571-4576, 2004.

#### ◆ 学会報告

- 1) 高野克彦, 鈴木 紫, 中川秀夫: CINC-1により誘導される好中球遊走およびアクチン重合に対するシグナル伝達機構の検討. 第25回日本炎症・再生医学会, 2004, 7, 東京.
- 2) 柴田 太, 伊藤 愛, 三井健一郎: S100A9の線維芽細胞増殖促進活性. 第77回日本生化学会大会, 2004, 10, 横浜.